

「科学技術政策特論」講義案内

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします



平成26年

7月4日 金

5 講目
16:30-18:00



工学研究院
オープンホール
[B-201]

第12回

国際科学プロジェクトの リーダーシップとは？

—科学掘削計画の立ち上げから、科学の突破まで—

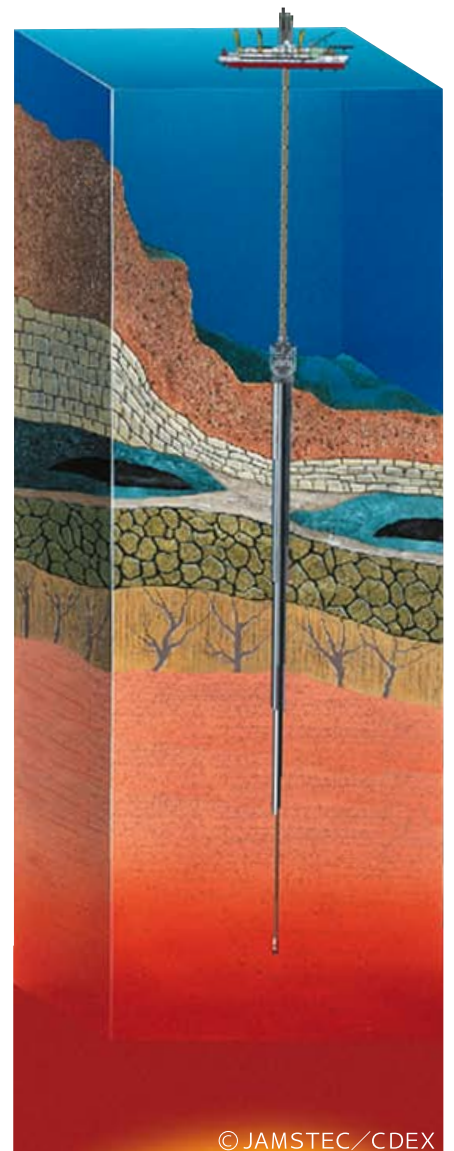
独立行政法人 海洋研究開発機構
地球深部探査センター企画調整室 次長
倉本 真一

倉本先生からのメッセージ

欧米追従型の科学プロジェクトから脱却して、真の国際リーダーシップをとるという事は、どういう事なのか？研究者、技術者の役割、国や行政の役割は？約半世紀に渡る科学掘削の歴史で、どのように日本は貢献し、悩み、そして世界に打って出たのか？科学掘削プロジェクトの歴史を振り返りつつ、これまでの経験を交えて、現在進行中の科学マネジメントと新たな科学の芽生えについて紹介します。

倉本 真一 先生

1991年に東京大学より理学博士の学位を授与され、その後ハワイ大学でのPos Docを経て、通商産業省工業技術院地質調査所(現在の産業技術総合研究所)に研究員として就職しました。専門は海洋地質学です。日本周辺海域の調査、特に日本海側の構造調査、海底活断層調査などを行ってきました。2002年10月に地球深部探査センター(CDEX)発足時にJAMSTECに移り、現在は地球深部探査船「ちきゅう」の運用を行っています。研究者としての生活中には、専門家として行政の仕事も経験しました。



© JAMSTEC/CDEX